

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/09/10～2018/10/31)

1. 勉学の状況

I 法律科目

履修科目：民法・商法

中国法は日本法と同じくドイツ法を基にしており、日本法にもかなり影響を受けている。中国の法律用語の40%は日本から輸入されたものである。授業で紹介される民法の教科書には日本の教科書の中国語訳もあった。

こうした背景もあって講義は難しくはない。しかし専門性の高い講義を理解するのは難しい。法律専門用語は聞き慣れない為、ときどき何を説明しているのか分からなくなる。後で発音から漢字を調べれば日本にもある法律用語だった、ということも度々ある。

日本との法律の違いを知ることにより日本法の理解も深まる。

II 専門外科目

履修科目：日本経済、政治と経済

中国国内の日本政治研究の第一人者が開く授業。他国の日本政治の見方を知ることにより視野が広がる。面白い。教授や中国人学生の忌憚のない意見が聞けて面白い。

2. 生活の状況

多くの人が一番留学前に気にすることは友人ができるかどうかである。ヨーロッパから留学に来る学生が一番多いため、留学当初は英語しか喋っていないのではというほど欧米の留学生と交流があった。しかしやはり英語力が足りなく、思うようにコミュニケーションが取れないため、同じアジア人と深く付き合うようになる。中国では日本語を学んでいる学生が多いため、日本人と友達になりたがる人が多いので現地学生と仲良くなるのは難しくはない。

食事は来た当初は脂っこさに辟易したがすぐに慣れた。探せば油を使わないおかずもある。食堂のおかずのほしい半分は日本人の口にあうおかずだ。